学校番号	３０９

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ (Geography)	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『基本地理Ａ』　（二宮書店） 『新詳 高等地図』（帝国書院）						
副教材等	「世界の諸地域 NOW　２０２１」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Inquiry questions（探求テーマ）…グローバルな視点で地理学を学び、その中から自ら課題を発見して考えを深めることが、結果として将来の一個人の幸福や社会問題解決の原動力に繋がる。
Key concept（重要概念）…世界地理の基礎的知識の定着を基本的目標とする。特に、世界を地域別（＝地誌）に整理し地図上で理解を得ることはもちろんのこと、地域現代史や現代世界の問題についても分析できる能力を獲得し、考察を深めることが重要である。

2　学習の到達目標

①地理的空間と環境の相互関係を学ぶこと。 ②人間の福祉や環境の質に関心をもち、資源の持続可能な管理の必要性を理解すること。 ③現代の社会問題や困難を分析するうえで、地理が関連していることを理解し、多様性や変化に対しグローバルな視点をもつこと。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的事象に対する関心と課題意識を見出し、追究するとともに、国家・社会を形成する一員としての責任を果たそうとする。	世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査
	Internal Assessment（内部評価）20% ※ポートフォリオ ※課題に見合う資料の収集	Internal Assessment（内部評価）20% ※社会問題について論述する能力 ※パフォーマンス評価 ・ワークシート ・レポート	Internal Assessment（内部評価）20% ※図や表のデータ分析 ・ワークシート ・レポート	Internal Assessment（内部評価）20% ※地経学の知識

①上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 ②それぞれの観点について、アプローチの仕方や、捉え方の違いに差異が出てもよいとし、学習内容に応じて適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期(中間)	世界地理を理解するための基礎	1 身近な地図 2 半球、時差、領域 3 大地形、プレートテクトニクス、小地形 4 気候要素と気候因子、大気の大循環	○	○	○	○ ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、与えられたテーマについて事前に調査できる。また、ペア・グループワークでメンバーと協力して取り組むことができる。 b:事前調査したものをまとめ、時差・プレート・気候が、実生活と関連してクラス発表に活かし、発表できる。 c: 各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d: 陸地と海洋の割合、経度による時差の存在を把握する。内的・外的営力や、造山活動を把握する。気候区分の違いを明確化する。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート (アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む)
	東アジアの地誌	1 東アジアの概観 2 中華人民共和国 3 朝鮮半島	○ ○ ○	○ ○ ○			a: 資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（自然・民族・産業・主要都市等）を事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。中国・朝鮮半島が、日本の生活や文化、経済などと関連づけて発表できる。	
1学期(期末)	東南アジアの地誌	1 東南アジアの概観 2 地域現代史 3 産業 4 地域問題	○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（自然・民族・産業・主要都市等）を事前に調査できる。 b:事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d:以下について理解を深める。植民地時代の産業、文化、宗教と現在の関わり。ＡＳＥＡＮ。日本企業の進出による日本との関係。農業は、油やし生産と環境問題。工業は、外資導入・輸出指向型工業の発展。カンボジアの地域の諸問題について。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート (アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む)

	南アジアの地誌	1 南アジア入門 2 地域現代史 3 産業 4 地域問題	○	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（自然・宗教・主要都市等）を事前に調査できる。 b:事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d:以下について理解を深める。地域現代史。英植民地時代の宗教対立と分離独立、戦後のカシミール問題と印パの対立と戦争・印パの原爆開発。産業植民地時代の農業地域形成と、気候による農業形成。９０年代以降のインド経済の方向転換（ＩＴ産業等）と発展。宗教を背景とした対立、地域問題。	
2学期(中間)	西アジア・北アフリカの地誌	1 西アジア・北アフリカ概 観 2 地域現代史 3 産業 4 地域問題	○	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（アラブ民族と宗教等）を事前に調査できる。 b:事前調査の話し合いと、『貿易ゲーム』を、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d:以下について理解を深める。パレスティナ問題。中東戦争。パレスティナ暫定自治協定等の問題も含む。石油開発問題。灌漑農業。イラク戦争。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート (アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評 価を含む)
	中・南アフリカの地誌	1 中・南アフリカの概観 2 植民地化と独立 3 今日のアフリカ	○	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマを事前に調査できる。 b:事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d:以下について理解を深める。自然・文化を絡めた、ホワイト・ブラックアフリカ、スワヒリ文化の区分。植民地化と今日の動向。資源開発を中心とした動き。貧困・エイズの問題。	

	ヨーロッパの地誌	1 ヨーロッパの概観 2 民族と地域性 3 EUのあゆみとその問題 4 産業 5 ロシアの生活・文化と日本	○	○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a: 資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマを事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d:以下について理解を深める。三大民族と、民族問題。ＥＵ統合への動きと問題点。農業・工業地域の理解と問題点。ヨーロッパの主な局地風。また、旧ソ連時代の社会主義建設と、ソ連崩壊後のロシアとの関連。ロシアの資源分布が東西で違うことから、工業も異なっていること。資源を基礎とした日ロ関係と、北方領土問題。	
2学期(期末)	北アメリカの地誌	1 北アメリカの概観 2 地域現代史 3 世界一の農業・工業 4 サラダボウル国家	○	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（ＷＡＳＰや黒人等の人種問題、農業、工業等）を事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d:以下について理解を深める。領土拡大と、先住民・黒人に対する問題。農業は、緯度経度と絡めて、気候と深く密接していること。工業は、西部の躍進を気候と絡め、北部その問題点。「人種のるつぼ」と「サラダボウル」。多文化主義。貧困の背景に、人種・民族も絡んでいること。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート (アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む) ・定期考査 ・ワークシート ・レポート (アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む)

	中・南アメリカの地誌	1 中・南アメリカの概観 2 植民地化と混血文化 3 ブラジル 4 統合への動き	○	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（３つの文明、混血、文化等）を事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d: 以下について理解を深める。植民地化の影響による人種・民族構成の多様性。ＢＲＩＣｓの一角を占めるブラジルの躍進。メルコスール。	
３学期	オセアニアの地誌	1 オセアニアの概観 2 オーストラリア・ニュージーランドの地域現代史 3 資源大国オーストラリア	○	○	 ○ ○	 ○ ○	a: 資料やインターネットなどを活用して、各班で決めたテーマ（地形、気候、文化、工業、農業）を事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表などにまとめられる。 d: 以下について理解を深める。アボリジニやマオリと、移民との文化。ボーキサイトからアルミナ、アルミニウムへの変化を含む工業。多様な気候を活かした農業。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート （アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む）
	日本の自然環境と災害	1 日本の気候と地形の特徴 2 防災と対策	○	○	 ○	 ○	a: 日本の過去の災害について資料やインターネットなどを活用して、事前に調査できる。 b: 事前調査を発表に活かせている。 c:身近な防災について、図や表などにまとめられる。 d: 以下について理解を深める。日本の気候、地形と災害の関係性、防災学習について（自助・共助・公助）	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。